

# 「巨峰」における着色促進のためのS-ABA活用技術

「巨峰」のS-ABA散布では、散布量は5ml/房散布、その後、袋かけを行う方法が着色促進に効果的である。

## 背景・目的

- ・果粒肥大期の高温のために、果実の着色不良が問題
- ・着色促進効果が期待されるS-ABAの効果的な活用方法を開発

## 成果の内容

- ・「巨峰」の果房へのS-ABA(アブサップ液剤100倍液)の効果的な散布方法は、袋かけを遅らせて散布し、その後袋かけを行う方法である
- ・果粉溶脱を抑える散布量は5ml/房(約25リットル/10a)である

### ◎散布方法

試験区	果皮色色票値	労働時間(時間/10a)
袋→散→袋	10.1 a	53時間20分
袋→散(穴)	8.2 b	11時間42分
<b>散→袋</b>	<b>10.8 a</b>	<b>10時間48分</b>
無処理	6.4 c	0

注)袋:袋かけ, 散:散布, 散(穴):袋下部の穴から散布

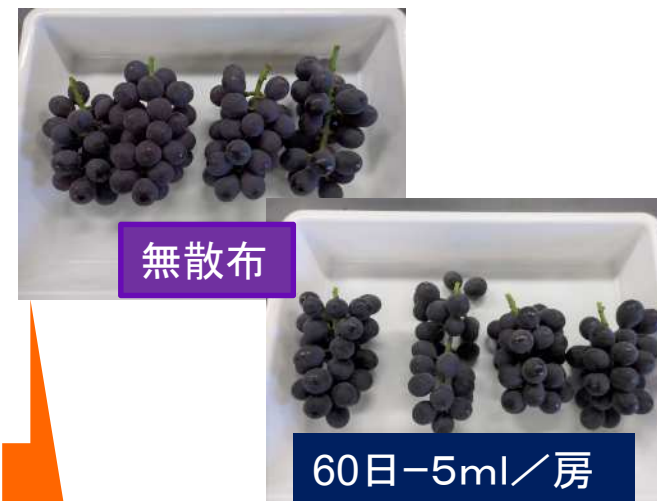
### ◎散布量

散布量	果皮色色票値	糖度(° Brix)	果粉溶脱程度
5ml/房	10.8	17.5	<b>極少</b>
10ml/房	10.8	17.5	少
15ml/房	11.2	17.1	中
20ml/房	10.9	17.6	中
無処理(参考)	9.0	17.7	無

### ○果実品質(参考情報)

散布時期	果皮色色票値		糖度(° Brix)	
	R3	R4	R3	R4
満開後60日(着色始期)	<b>11.5±0.1</b>	<b>10.9±0.3</b>	19.6±0.3	17.4±0.3
無処理	9.1±0.3	9.0±0.3	19.5±0.3	17.7±0.1

注)着色始期は果房の2~3粒が着色し始めた時期  
満開後60日散布区は、無処理区より殺虫剤を1回多く散布した



無散布

60日-5ml/房

### 期待される効果

着色が良好な果実の安定出荷



商品性・単価アップによる農業所得の向上

○普及対象・範囲 「巨峰」生産者

鹿児島県農業開発総合センター  
果樹・花き部特産果樹研究室